

八幡地域協議会アンケート調査の概要について

1. 調査の目的

身近な商店、公共交通の撤退・廃止、高齢化等により日常の買い物や生活に必要なサービスを受けることが困難になっている“買い物弱者”は、高齢者を中心に全国で700万人にも及ぶと推計されている。

八幡地域協議会では、交通の課題について検討を深める中で、特に地域で暮らし続けるために欠かせない課題として“買い物支援（買い物弱者の支援）”を重点として捉え、課題解決に向けた具体的な支援や事業等の検討を行うための基礎データの収集を目標として、日常の買い物に主眼においていた生活の実態や移動手段、必要なサービス等についての住民ニーズを把握するため、八幡地域内の住民を対象としたアンケート調査を実施し、地域の実情に合った支援の方向性を探る。

2. 調査の対象

高齢者における買物や移動手段などの実態と必要なサービス等のニーズを把握するため、65歳以上 89歳以下の住民を対象に調査を実施した。

3. 調査方法

調査方法はアンケート回答方式、調査票の配布・回収方法は郵送による。

4. 調査時期

令和7年1月27日～2月28日

調査名	日常の買い物や移動手段に関する市民アンケート
対象	八幡町内在住の65歳以上89歳以下の住民（抽出） ※八幡町の65歳以上89歳以下の人口 <u>4,322人</u> ※八幡町の65歳以上人口 <u>4,838人</u> ※八幡町の人口 <u>12,110人</u>
抽出方法	八幡地域内の対象となる年齢別の人団から無作為抽出 ただし、状況により八幡町内の各地区データも必要となるため、地区別人口については、集計上必要なサンプル数を考慮して按分した。
実施方法	配布方法：郵送／回答方法：郵送
実施時期	令和7年1月27日～2月28日
配布数	配布数513票
回答数	回答数390票（回答率76.0%）